

▶高校生限定プログラム▶

脳科学セミナーと研究室見学

～のぞいてみようヒトの脳と心～

>> 高校生のみなさんを対象として、「脳」をテーマに広く「生命科学」の面白さを感じて頂くことを目的として開催します。

World Brain Awareness Week

2015年 8月2日(日) 13:00～

会場 ■ 大阪大学大学院生命機能研究科
生命システム棟 2階セミナー会場

対象 ■ 高校生のみなさん

定員 ■ 先着100名

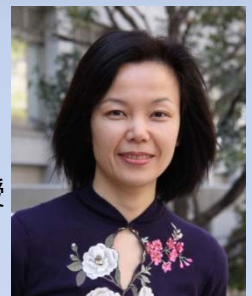
主催 ■ 大阪大学神経科学グループ/
NPO法人脳の世紀推進会議



セミナーと研究室見学

ニューロンのゆるさが生む精巧な神経回路

見学 美根子 京都大学 物質-細胞システム拠点 神経発生学分野・教授



◆講演後に研究室見学・体験実習◆～見て触れて感じてみよう～

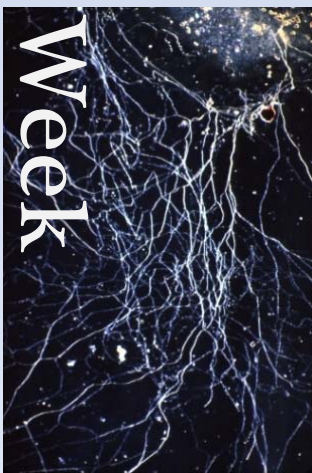
大阪大学大学院生命機能研究科 細胞分子神経生物学研究室(山本巨彦研究室)

>> 普段、目にする事のない研究機器や実験に触れることができるチャンス！
「生きた神経細胞の観察」や「脳切片の染色実験」などを実際に体験して頂けます。
また、教員だけでなく大学生・大学院生ともお話し頂けます。

参加費
無料

お申込み・お問合せ先

大阪大学大学院生命機能研究科
山本 巨彦
TEL : 06-6879-4637
E-Mail : h-yoshida@fbs.osaka-u.ac.jp
URL : <http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/labs/neurobiol/>



◆◆過去の講演会より◆◆

脳研究の最前線

～第一線の研究者による講演会～

◇昨年度、講演会では佐藤真教授(大阪大学大学院医学系研究科)が、高校生向けに脳の働きやその仕組みをわかりやすく解説し、最新の研究成果についてもお伝えしました。



佐藤教授の講演風景

研究室見学・体験実習

～最先端の研究現場に触れる～

◆講演会終了後、2グループに分かれて、佐藤真教授の解剖学教室、山本巨彦教授の細胞分子神経生物学研究室の2研究室を訪問し、実験施設の見学、具体的な実験手法についての説明や顕微鏡を用いたのサンプル観察などを体験して頂きました。



実験室で生きた標本の観察

◇解剖学教室でヒトの「脳」を目の当たりにした高校生の方々は、非常に感銘を受けた様子であり、より「脳科学」に対する関心が高まったとの感想が多くありました。

◆説明にあたった大学院生とも直接お話し頂き、研究に関する事のみならず、自身の経験談や脳研究に携わることの面白さについてもお伝えしました。高校生の皆様にとって今後の進路決定の一助となれば幸いです。



高校生の質問に答える山本教授

◇高校生の皆様からも積極的にご質問が寄せられ、その関心の高さに驚かされると共に、両研究室のスタッフや大学院生も大いに刺激を受けました。



サンプルを熱心に観察する高校生



顕微鏡によるサンプル観察



説明に聞き入る高校生

ご参加頂いた高校の先生より..

◆普段の学校の授業では経験できないことであり、生徒たちもメモを取り熱心に聞き入っていた。こうした研究の最前線に触れるという機会はとても有難い。

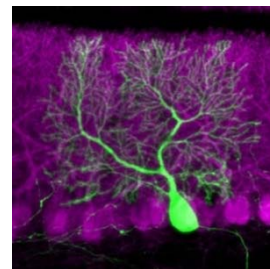
◇グループに分かれての研究室見学では、他校の生徒たちとも触れ合うことができ、互いに意見交換を行うなど、生徒達にとって大変よい刺激になったようだ。

◆◆今年度の内容は..◆◆

◆見学美根子教授(京都大学物質-細胞システム拠点 神経発生学分野)による講義の後、研究室見学・体験実習を行います。「生きた神経細胞の観察」や「脳切片の染色実験」など、実際に手を動かして、脳研究の最前線となる研究現場を高校生の皆様に体験して頂ける大変貴重な機会です。

夏休みの一日、最先端の脳研究の現場を一度体験してみませんか。

研究室スタッフ一同、意欲溢れる高校生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



生体で蛍光タンパク質を発現させたニューロン